

団体名 あなろぐの会（周南市）

代表者名	岸田 信也	団体の目的
構成員数	8人	1型糖尿病について情報発信することで社会的理解を促進するとともに、患者や患者家族の交流会や、インターネットでの情報交換・情報提供を行うことで生活の質（QOL）の向上支援を図る。
設立	2015年（H27年）10月	
問い合わせ先	☎080-1919-5706（岸田）	

事業名 難病患者 家族 支援者 の防災交流会

事業の目的 ・「被災時に自分や家族が困る事」を考えてもらい、「困らないようにするにはどのような事前準備をするべきか」を参加者の方が実際に考え、実践できる講演内容とする。

事業の内容 ・難病患者 家族 支援者 の防災交流会

開催日：7月13日 13:00～15:00

場 所：周南学びの交流プラザ

内 容：・講演会

演 題「みんなで生き残るために」

講 師：特定非営利活動法人おれんじの会理事長 渡邊利絵さん

・備蓄食の試食

休憩時間を利用して、備蓄食の米粉クッキー（アレルギー対応）、缶詰パン、水又はお湯で食べられるお米、医療機関向けレトルト食品などを試食

・交流会

講演終了後に、グループに分かれ意見交換

参加者：30人

事業の成果 ・災害の備えについて、参加者同士で情報を共有することができた。
・県内の他団体との連携を強化することができた。

活動現場レポート！ 難病患者 家族 支援者 の防災交流会 〈R1.7.13/周南学び交流プラザ〉

この日は、おれんじの会理事長で、防災士の資格を持ち整形外科医でもある渡邊利絵さんを招き、「みんなで生き残るために」と題して講演会が行われました。

講演では、各市町のホームページで防災・災害情報を発信していることや、先日の鹿児島市での豪雨では、避難した人が1%不足だったことなどの情報提供とともに、各家庭に配布されているハザードマップで、避難場所、危険個所を確認しておくことなど、日頃の備えの大切さを訴えられました。

また、水や食料の備蓄だけでなく、薬の備蓄をしておくことも勧められていました。非常時にあると役に立つ物品、病気や障害のある人向けの必要物品等については、おれんじの会で作成された「管理表」を示しながら、わかりやすく説明をされ、参加した皆さんは、身近な問題として真剣に聴かれていました。



渡邊利絵さんの講演



備蓄食の試食